

## 第1学年 総合的な学習の時間

### 「移動教室で訪れる地域の食文化を学ぶ」(14時間)

#### 1 単元の見目標

- ① 移動教室で訪れる地域の食文化に触れることから、その土地の自然を生かした生活や習慣、歴史などの風土について興味や関心をもち、追究することができる。
- ② 移動教室で訪れる地域の食文化から、その土地に根付く食文化のよさを見だし、継承していこうとする態度を育てる。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・日本各地には独特の食文化があることに気付き、興味や関心のある学習課題を選んで方法や手順を考えながら追究する。

##### ◆人間関係

「対人関係力」

- ・時と場に応じた適切な言動を行うこと
- ・相手の痛みや感情を共感的に受け止めて行動すること

- ・食文化を体験する場面において、地元の講師の人から話を聞く際には、適切な言葉遣いで質問したり、感謝の意を言葉や態度で表したりしながら対応する。

##### ■未来の創造

「新たな価値を創造する力」

- ・興味や関心、意欲をもって、独創的で知的な活動を行い、新たな価値を見いだすこと

- ・日本各地にある独特な食文化について興味や関心をもって体験するとともに、食文化の価値を継承することについて自分なりの考えをもち、発信する。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

食育	・日本各地の伝統的な食文化に興味・関心をもち、それが生まれた歴史的・環境的な風土を理解し、環境と調和した食文化を継承していこうとする態度を育てる。
環境教育	・自然環境に適応しながら暮らす日本各地の人々の暮らしの豊かさを感じる心情をもち、環境と人との共生について考え、環境に働きかける実践力を育てる。
メディアリテラシー教育	・学校図書館の活用を通して、日本各地の伝統的な食文化について必要な情報を収集・処理し、発信・伝達する能力を育てる。

#### 4 単元の指導計画（14 時間扱い）

時間	主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (6)	<p>【移動教室で訪れる地域の食文化を調べる】</p> <p>○移動教室で訪れる地域（訪問地）で、食べられている餅について話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料 ・大きさ ・味 等</li> </ul> <p>○訪問地の「もち暦」を見て話し合い、学習課題を設定し、餅を食べる回数が多い理由を予想する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正月、桃の節句、十五夜、端午の節句、冠婚葬祭等で餅を食べる。</li> <li>・餅の種類も多い。</li> <li>・米の生産が多い。</li> <li>・昔からの習慣がある。</li> </ul> <p>○訪問地の食文化について、課題を選択して調べる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候や地形</li> <li>・餅の歴史</li> <li>・行事や祭り</li> <li>・言い伝え、風習</li> </ul> <p>○訪問地の食文化についてパンフレットにまとめる。(2)</p>	<p>◇問題発見・解決力 ★訪問地の「もち暦」から、年間で餅を食べる回数が多いことに着目し、食文化への興味・関心を高めている。</p> <p>◇問題発見・解決力 ★学習課題を解決するために必要な情報を収集し、計画的に調べている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問地からの餅紹介のDVDを視聴したり、実物を提示したりすることで、興味・関心を高める。</li> <li>・「もち暦」を見ながら、自分たちが年間を通じて餅を食べる回数と比較させ、訪問地と自分たちの地域の食文化の違いに問題意識をもてるようにする。</li> <li>・学校図書館にある訪問地の食文化や、風土に関連する図書資料を自主的に選択・活用できるようにする。</li> </ul>
2次 (4)	<p>【移動教室で訪れる地域の食文化を体験する】</p> <p>○移動教室で訪れた地域で、実際に餅作りの体験をする。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・餅米を蒸す。 ・餅をつく。</li> <li>・具材にからめる。</li> </ul> <p>○餅作りを指導してくれた講師から、餅を食べる文化について話を聞き、分かったことをまとめる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔からの風習</li> <li>・自然の恵みの具材</li> <li>・祝い事でのふるまい 等</li> </ul>	<p>◆対人関係力 ★講師の人から話を聞く場に応じて、適切な言葉遣いで質問したり、感謝の意を言葉や態度で示したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班で役割分担を明確にして、安全に気を付けて活動に取り組むように指導する。</li> <li>・事前に講師に質問する事項を班で決めるとともに、適切な言葉遣いや態度などについて確認する。</li> </ul>
3次 (4)	<p>【食文化の継承についての自分の考えをまとめ、発表する】</p> <p>○訪問地の食文化についての現状と対応について調べる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継承するにあたっての問題点</li> <li>・地元での普及啓発活動</li> <li>・学校給食への導入</li> </ul> <p>○訪問地の食文化の継承について自分の考えをまとめ、発表する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化の継承についての考えの提案</li> </ul>	<p>■新たな価値を創造する力 ★食文化を継承する上での問題点を踏まえ、その価値の継承に自分なりの考えをもたせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・餅作りを指導してくれた講師の方が、食文化の普及に尽力していることを取り上げ、食文化の継承についての現状と対応について関心をもたせる。</li> </ul>

## 第1学年 総合的な学習の時間

# 「減らそう、学校の「もったいない」」（14時間）

### 1 単元の目標

- ① 学校生活における水やエネルギー資源の利用状況や、ごみ処理の状況を調べることを通して、自分たちの暮らしや産業を支える水やエネルギー資源などの重要性と有効利用の必要性を理解する。
- ② 水やエネルギー資源などを効率よく利用するための方法を提案し、自ら実行することを通して、社会の一員として循環型社会の実現に向けた資質や能力を身に付ける。

### 2 単元で育てたい資質・能力

#### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・日本や学校における水やエネルギーの消費、ごみ処理上の課題を理解し、自分たちができる省エネや節水などの方法を提案し、進んで実行する。

#### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・学校で使用する水やエネルギー資源の利用状況等に関する調査活動を通して、資源と自分の暮らしとの関わりを理解し、社会の一員として環境保全や循環型社会の実現のために自分たちができることを考え、提案する。

#### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・暮らしに必要なエネルギー資源の確保や、ごみ処理上の課題を自分の生活と関連付けて理解し、課題の解決に向けて自分たちができることを考え、自ら実践する。

### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

再生可能エネルギー教育	・身近な事象からエネルギー資源を取り巻く諸情勢に関する知識と科学的知見を深め、エネルギーや環境問題の解決に向けて、生涯を通じて主体的かつ適切に判断し、行動できる資質や能力の基礎を培う。
環境教育	・学校における水やエネルギー資源の消費や、ごみの処理について調査する活動を通して、自然の恵みを大切に思う心情を育み、環境保全に寄与する態度を育てる。
持続可能な開発のための教育(ESD)	・資源の確保やごみ処理等の課題を自分たちの暮らしと結び付けて理解することで、循環型社会や環境保全への興味や関心を高め、持続可能な社会をつくる担い手としての資質や能力を育てる。

#### 4 単元の指導計画（14 時間扱い）

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (4)	問 い を も つ	<p>【自分たちの暮らしに必要なエネルギーや水の使い方について話し合う】</p> <p>○日本の水やエネルギー資源の利用、ごみの廃棄・処理における課題から、自分たちが生活していく上での問題点を考える。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー資源の枯渇、環境汚染</li> <li>・節電や節水等による生活改善の必要性</li> </ul> <p>○学校における水やエネルギー資源の使用状況等の調査から、グループで課題解決に向けた提案を行うための計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気、ガス、水道の使用状況と課題</li> <li>・ごみ処理の状況と課題</li> <li>・学校で取り組むべき生活改善策の検討</li> </ul>	<p>◇問題発見・解決力</p> <p>★日本や学校における水やエネルギー資源の消費、ごみの処理上の課題を理解し、具体的に調査する課題を設定している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの生活とエネルギー資源や環境問題とのつながりが理解できるような身近な事例を提示し、課題意識を高める。</li> </ul>
2次 (7)	調 べ る	<p>【校内における水やエネルギー資源の使用状況やごみの処理について調査する】</p> <p>○グループごとに計画に沿って、校内の水やエネルギー資源などの使用状況、ごみ処理の状況を調査する。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道メーターやガスの検針票の確認</li> <li>・ごみの処理の状況や電気等の使用状況の把握</li> </ul> <p>○調査結果を分析し、課題解決に向けての提案をまとめ、報告会に向けたポスターを作成する。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房を使う季節は電気の使用量が多い。こまめな温度設定を行ったり、必要のないときには消したりする。</li> <li>・水はトイレや流し場での使用量が多い。節水を心掛ける必要がある。</li> </ul>	<p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★調査を通して、エネルギー資源と自分の暮らしとの関わりを理解し、社会の一員として環境保全や循環型社会の実現のために自分たちができていることを考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の実情に応じて、調査方法を設定できるように配慮する。</li> <li>・学校で生活する一員として、エネルギー資源の消費等を自分の問題として考えるように助言する。</li> </ul>
3次 (3)	話 し 合 う	<p>【報告会で調査結果を踏まえ、自分たちができることを話し合う】</p> <p>○グループごとに調査結果と校内に向けた提案を話し合い、ポスターセッション形式で発表する。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気を作る過程でも地球に大きな負荷をかけるので、教室の電気をこまめに消そう。</li> <li>・物は作る時だけではなく、廃棄する際もエネルギー資源が消費され、地球に大きな負荷をかける。まだ使えるものは大切にしよう。</li> <li>・作成したポスターを校内の適切な場所に掲示しよう。</li> </ul>	<p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★エネルギー資源の確保やごみ処理上の課題を自分の生活と関連付けて理解し、課題の解決に向けて自分たちができていることを考え、自ら進んで実践しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を守ることに取り組んでいる人の活動を紹介し、実践への意欲を高める。</li> <li>・作成したポスターを関係する場所に掲示する。</li> </ul>

## 第2学年 総合的な学習の時間

# 「学校ビオトープを作ろう」(24時間)

### 1 単元の目標

- ① 身近な環境の変化を調べることで環境保全についての問題意識をもち、学校の中にビオトープを作る活動を通して、社会の形成者として環境保全に参画しようとする意欲を高める。
- ② ビオトープ作りを計画し、その完成に向けて、友達の多様な考えを理解して、協力しながら活動することができる。

### 2 単元で育てたい資質・能力

#### ◇自主・自立

「問題発見・解決力」

・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

・環境保全の取組を学ぶために、ビオトープを作って観察するという趣旨を理解し、既習の知識を生かしてビオトープ作りの計画を立て、実行する。

#### ◆人間関係

「他者と協働する力」

・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

・ビオトープの完成に向けて、様々な友達のことを理解して、協力しながら活動する。

#### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

・身近な環境の変化を調べることで環境保全についての問題意識をもち、社会の一員として環境保全に参画しようとする。

#### ■未来の創造

「生命を大切にする力」

・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他を含め、生命ある全てのものを尊重し、環境保全に寄与すること

・ビオトープ作りやそこでの観察を行うことで生命の尊さを理解し、環境保全に寄与する旨の意見文を書く。

### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

環境教育	・ビオトープ作りやそこでの観察を通して、環境保全についての理解と関心を深め、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する資質や能力を育てる。
森林環境教育	・動植物が生息するための条件を考えながらビオトープを作ることを通して、森林の大切さについての理解を深め、森林と人が共生する社会の実現を目指そうとする資質や能力の基礎を培う。
持続可能な開発のための教育(ESD)	・ビオトープ作りの活動を通して、生命の尊さや環境保全の大切さについての理解を深め、自分たちの暮らしとの関連を考えさせることで、持続可能な社会をつくる担い手としての資質や能力を育てる。

#### 4 単元の指導計画 (24 時間扱い)

時間	主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (5)	問 い を も つ  調 べ る  【地域での生物や環境の変化を話し合い、ビオトープ作りを計画する】 ○身の回りで見られる生物や生息している環境の変化について話し合う。(2) ・現在見られるもの、昔は見られたもの ・自然の減少と環境保全の重要性 ○ビオトープについて調べる。(1) ・ビオトープのもつ環境と意義 ・ビオトープの作り方 ○ビオトープ作りを話し合う。(2) ・生息してほしい生物の想定 ・設置場所や必要な資材、作業工程 ・設計図や作業の役割分担 ・専門家の協力 等	□主体的に計画・行動する力 ★身近な環境の変化から、環境保全についての問題意識を高めている。 ◇問題発見・解決力 ★ビオトープを作ることの意義を理解し、制作に向けた計画について話し合い、実行している。	・昔の写真や図鑑等を用意して、地域環境の変化と見られる生物の減少に気付かせる。 ・ビオトープや環境保全に詳しい専門家に助言を依頼する。 ・生物が生息している身近な場所を想起させ、ビオトープ作りのイメージを膨らませる。
2次 (13)	実 践 す る  【計画に沿ってビオトープを作る】 ○計画に沿ってビオトープを作る。(9) ・作業状況の確認と実行 ・専門家からの助言 ・記録 ○ビオトープの維持の仕方について話し合う。(2) ・草の移植、虫や鳥の止まり木の設置 ・水涸れ対策 ・役割を知らせる看板等の設置 ○ビオトープを維持するための作業をする。(2)	◆他者と協働する力 ★ビオトープの完成を目指し、様々な友達のことを理解して、協力しながら活動している。	・単元の実施に先立って、予算等の調整を進めておく。 ・既にビオトープが設置されている学校においては、取組内容を「ビオトープの整備」として学習を進めるようにする。 ・作業の際の安全策について事前に確認する。
3次 (6)	発 信 す る  【ビオトープからの情報発信を行う】 ○「ビオトープ開き」を行う。(2) ・完成報告及びメダカの放流 ・維持管理事項の確認 ○計画的に観察し、発見したことや考えたことを新聞に発行して伝える。(3) ・メダカの産卵や渡り鳥の飛来 ・野生の生物と環境保全の重要性 ○ビオトープの活動を振り返り、環境保全の視点に立って、校内に向けた意見文を書く。(1) ・自然を再生する大変さや素晴らしさ ・環境保全に向けて一人一人ができることを考えていくことの大切さ	■生命を大切にする力 ★ビオトープ作りやそこでの観察を行うことで生命の尊さを理解し、環境保全について寄与する旨の意見文を書いている。	・「ビオトープ開き」には活動を支えてくれた地域の人や他の学級・学年の生徒にも参加を呼びかけ、今後のビオトープの維持管理に向けた意識を高める。 ・自然の循環や環境保全の大切さの視点から、環境保全に対する自分の考えをもつよう指導する。

## 第3学年 総合的な学習の時間

# 「身近な環境について調査研究をしよう」(16時間)

### 1 単元の目標

- ① 地域の環境調査を通して環境保全への理解と関心を深め、地域社会の一員として環境保全や持続可能な社会の創造に主体的に参画する態度を育てる。
- ② 自らの生活経験を基に地域の環境に対する課題意識をもち、調査したい事象を選んで、計画的に調査活動を行うことができる。

### 2 単元で育てたい資質・能力

#### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・自分たちの生活経験を基に、地域の環境について調査したい事象を決め、調べる方法や手順を考えながら調査する。

#### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・環境と自分の暮らしとの関わりを理解し、地域に暮らす一員として環境保全や持続可能な社会の創造のために、自分にできることを考え、活動する。

#### ■未来の創造

「生命を大切にする力」

- ・生命の尊さを理解し、かけがえのない他を含め、生命ある全てのものを尊重し、環境保全に寄与すること

- ・調査活動を通して、環境が人間をはじめとした動植物の生命に深い影響を与えていることを理解し、生命ある全てのものを尊重する精神に基づき、環境保全に向けた自分の意見を作文にまとめる。

### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

環境教育	・地域の環境を調査する活動を通して、環境保全についての理解と関心を深め、生命を尊び、自然を大切に、環境保全に寄与する態度を育てる。
森林環境教育	・身近な自然環境を保全する重要性に気付き、森林と人とが共生する社会の実現に向けた資質や能力の基礎を培う。
持続可能な開発のための教育(E SD)	・地域の環境調査を通して、環境問題と自分たちの暮らしとの関わりを理解し、循環型社会や環境保全への興味・関心を高め、持続可能な社会をつくる担い手としての資質や能力を育てる。

#### 4 単元の指導計画（16 時間扱い）

時間	主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (5)	問 い を も つ  【身近な環境問題について考える】 ○自分たちが知っている環境問題について発表し合う。(1) ・地球温暖化、酸性雨、森林伐採、廃棄物処理に関わる問題 等 ○地域を歩き、環境問題につながる恐れがある事象を見付ける。(2) ・川の汚れ、排気ガス、自然の減少 等 ○身近な環境の調査に取り組み、現状と暮らしへの影響を伝える計画を立てる。(2) ・水質：家庭排水の行方や川の水質調査 ・大気：空気の汚れの測定、粉じん調査 ・自然：地域の動植物の生態マップ 等	◇問題発見・解決力 ★自分たちの生活経験を基に、地域の環境について調査したい事象を決め、調べる方法や手順を考えている。	・地域調査を行う際には、事前に注意事項を確認し、安全面への指導を徹底する。 ・東京都環境白書（東京都環境局）等の環境に関する資料を準備し、計画立案の参考にするように助言する。
2次 (8)	調 べ る  【自分たちの地域の環境調査を行う】 ○計画に沿って、環境調査を進める。(6) ・実地踏査やインタビュー調査 ・実験や観察によるデータ収集 ・数値や映像による記録 ○調査結果をまとめ、報告会に向けた準備を行う。(2) ・データの集計や分析、解釈と評価 ・報告用資料の作成 ・発表原稿の作成とリハーサル	□主体的に計画・行動する力 ★調査を進める過程で、環境と自分の暮らしとの関係に対する理解を深め、地域に暮らす一員として、環境保全のために自分ができていることを考えている。	・地域の実情に応じて、調査方法を設定できるように配慮する。 ・環境と自分の暮らしとの関わりに着目させ、調査結果の考察に反映させるようにする。
3次 (3)	振 り 返 る  【報告会で調査結果について話し合い、環境保全についての意見文を書く】 ○報告会でグループごとに調査結果を発表し、学級内で意見交換をする。(2) ・地域のヒートアイランド現象 ・見られる生物の減少 ・自分たちの責任や使命 等 ○地域社会の一員としての立場で環境保全に対する意見文を書く。(1) ・自分にできることから始めたい。 ・調査結果を伝え、環境保全に協力するよう地域の人に呼びかけたい。	■生命を大切にする力 ★環境が動植物の生命に深い影響を与えていることを理解し、生命のある全てのものを尊重する精神に基づき、環境保全に向けた自分の意見を作文にまとめている。	・話し合いでは意見の共通点や相違点を明確にし、環境保全を進める上での課題を明確にする。 ・自分が実際に取り組むことを表現することによって、環境に配慮した行動の実践化を図る。



## 第3学年 総合的な学習の時間

# 「地球のことを考えた私たちの生活」(19時間)

### 1 単元の目標

- ① 地球環境に配慮した暮らしの実現に向けて、自分たちの暮らしと関連付けながら課題解決の方策を考え、提案したり実践したりすることができる。
- ② 他者と協力して循環型社会の形成や環境保全に向けた方策を考えることで、社会の一員としての自覚を高め、持続可能な社会の実現に向けた活動を行うことができる。

### 2 単元で育てたい資質・能力

#### ◇自主・自立

「問題発見・解決力」

・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

・環境問題を解決するための方策を提案するために、これまでの学習経験を生かして課題解決の手順を考え、実現可能な提案を行う。

#### ◆人間関係

「他者と協働する力」

・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

・地球環境に配慮した暮らしの実現という目標に向け、様々な人の立場や考えを尊重し、協力し合って循環型社会の形成や環境保全に向けた方策を考える。

#### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

・循環型社会の形成や環境保全に向けた方策を考えることで社会の一員としての自覚を深め、持続可能な社会の実現に向けて活動する。

#### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

・環境問題の解決方法を自分の暮らしと関連付けて考えることで、自分たちに何ができるかを考えて提案し、実践する。

### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

環境教育	・環境問題の現状とその原因を調べて、一人一人が地球に与えている負荷を理解し、環境を守るために自分ができることを考え、解決策を実践していく力を育てる。
森林環境教育	・環境問題を解決するための方策を考える中で、森林の役割や森林を守ることの大切さを理解し、森林と人とが共生する社会を実現しようとする態度を育てる。
持続可能な開発のための教育(ESD)	・環境問題と自分たちの暮らしとの関わりを見つめ、循環型社会や環境保全の必要性への理解を深めることを通して、持続可能な社会をつくる担い手としての資質や能力を育てる。

#### 4 単元の指導計画（19 時間扱い）

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (6)	問 い を も つ	<p>【環境問題について話し合う】</p> <p>○環境問題について話し合う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都や日本の問題、地球規模の問題</li> <li>・自分たちの暮らしと関連した環境問題</li> </ul> <p>○自分が解決すべきと考える課題の設定に向け、どのような環境問題があるのか調べる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染、水質汚濁、ヒートアイランド現象、オゾン層の破壊、自然環境の悪化 等</li> </ul> <p>○グループで課題を決定し、調べることや解決策を提案することの計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査や取材、現状把握と解決策の検討</li> </ul>	<p>◇問題発見・解決力</p> <p>★これまでの経験を生かし、環境問題を解決するための提案に向けた計画を立てている。</p> <p>◆他者と協働する力</p> <p>★課題解決に向けて様々な人の立場や考えを尊重し、協力し合っ て活動している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの社会や理科、技術・家庭の学習と関連させながら、環境問題を想起させる。</li> <li>・東京都教育委員会「啓発資料（暮らしと環境）ホームページ」を参考として紹介する。 <a href="http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/kan-kyo/index.html">http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/kan-kyo/index.html</a></li> </ul>
2次 (10)	調 べ る	<p>【解決策を調べたり、考えたりする】</p> <p>○計画に沿って、課題を調べる。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決の重要性</li> <li>・自分たちの生活との関係</li> <li>・身近な取組事例 等</li> </ul> <p>○調べたことから解決策を話し合う。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果のまとめと解決策の検討</li> <li>・実現可能な取組かどうかの検討</li> </ul> <p>○ポスターセッション形式の報告会に向けた準備を行う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表原稿や提示資料の作成</li> </ul>	<p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★循環型社会の形成や環境保全に向けた方策を考えることで社会の一員としての自覚を深め、持続可能な社会の実現に向けて活動している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの生活と関連付けた解決策を提案するように指導する。</li> <li>・自分たちが実際に取り組むことを前提として、提案事項を考えるように助言する。</li> </ul>
3次 (3)	振 り 返 る  実 践 す る	<p>【解決策を提案し、みんなで実践する】</p> <p>○自分たちが考えた環境保全の取組や循環型社会を実現するための方策を、ポスターセッション形式で提案する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループの提案を聞く。</li> <li>・参観者との意見交換をする。</li> </ul> <p>○友達の提案を聞いて、自分が実際に取り組むことを作文にまとめる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化防止に向けたこまめな節電</li> <li>・水質汚濁防止に向けた食器の洗い方</li> <li>・ごみの削減に向けたマイバッグの携帯</li> </ul>	<p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★環境問題の解決方法を自分の暮らしと関連付けて考えることで、自分たちができることを提案し、実践している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの方策の提案のよい点や改善点について、検討・議論するように指導する。</li> <li>・自分が実際に取り組むことを表現することで、環境に配慮した行動の実践化を図る。</li> </ul>